



キャリアアドバイザーに聞いた!

転職サクセス へ田道

ROAD TO "TENSYOKU SUCCESS"
vol.22

ADVISER

キャリアコンサルタント
村本麗子氏



ビジネスマンスクール東京・札幌の上席講師として年200回以上の授業に登壇。公共団体や企業への研修の提供や、企業、経営者、起業家へのコンサルティングや講演など、活動は多岐にわたる。脳科学理論をベースとしたコーチングでは、北海道における第一人者。株式会社ヒト・ラボ 代表取締役。

「希望給与」の記入欄、何を基準に書くのがベスト?

インターネットの応募画面などで時々目にする「希望給与」の記入欄。本音の金額はあるものの「高く書きすぎて落とされてしまう…」「安く書きすぎて逆に敬遠されてしまう…」と悩んだことはありませんか。

自己アピールの一つと考え
率直な希望金額の記入を。

希望給与の記入欄があるのなら、率直な希望金額を書いてかまいません。会社ごと、給与制度があるため、希望通りになるわけではないです。過度に低い金額や「特になし」といった回答では、自己評価を下げてしまうこともあります。書類提出は自己アピールの場。ぜひ自信を持つて、「自分の強みをアピールしてください。」

その金額が妥当だという
根拠を示せることが重要です。

金額提示に気をつけたいのが、記入金額が妥当だということ。

あるかということ。例えば営業職なら「前職では約○○人の顧客を持ち、月○○円の売り上げを達成していた」事務職なら「○○人の給与計算を担当し、出退勤管理、年末調整もこなせる」

ところです。入社直後は一時的に収入ダウンしたとしても、その後のキャリアアップによりグンと昇給するケースもありますし、人間関係が大きく広がるなど貴重な経験ができる場合もあります。相手が何を求めているか、そこにマッチする自分の強みは何かを考え、納得感を持つてもらえる数字を提示してみましょう。

異業種への転職の場合、その業界での実績はまだないのですから、根拠が示しにくいのもやむを得ません。自分の持つスペックをどう生かせるのかを考え抜き、そこを伝えて会社の判断を待ちましょう。

足りない条件は自分で作る
前向きな気持ちも大切に。

転職において給与額はとても大切な条件ですが、ぜひ転職時だけではなく、「2、3年後にどうなっているのか」も考えてほ

しいところです。入社直後は一時的に収入ダウンしたとしても、その後のキャリアアップによりグンと昇給するケースもありますし、人間関係が大きく広がるなど貴重な経験ができる場合もあります。相手が何を求めているか、そこにマッチする自分の強みは何かを考え、納得感を持つてもらえる数字を提示してみましょう。

転職において給与額はとても大切な条件ですが、ぜひ転職時だけではなく、「2、3年後にどうなっているのか」も考えてほ

うで転職において給与額はとても大切な条件ですが、ぜひ転職時だけではなく、「2、3年後にどうなっているのか」も考えてほ

うで転職において給与額はとても大切な条件ですが、ぜひ転職時だけではなく、「2、3年後にどうなっているのか」も考えてほ